



マイク一本で想いを語る清水氏



第50号

発行所

浄土真宗本願寺派 本願寺神戸別院
〒650-0011 神戸市中央区下手法通8丁目1番1号

Tel: 078-341-5949

阪神・淡路大震災物故者総追悼法要修行 ～この「想い」をつなぎたい～

6500人以上の尊い人命が奪われた阪神・淡路大震災より23年目の1月17日、本願寺神戸別院にて、「物故者総追悼法要」がとめられました。

午後1時半に行事鐘が鳴り響き、正信偈のおつとめにあわせて、参拝者全員のお焼香が行われました。

法要に続いて、宗門関係学校の学生による「いのち」をテーマとした作文の朗読が行われました。作文朗読者は、山口愛璃さん（神戸龍谷中学校）、中村実友さん（兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校）、室田陽花さん（神戸龍谷高等学校）の3名でした。

その後行われた1・17「いのち」を考える研修会では、キャスターで、現在、一般社団法人清水健基金の代表理事である清水健さんをお迎えして、「大切な人の「想い」とともに」と題した講演が行われました。

清水健さんは、平成13年に読売テレビに入社しアナウンサーとなり、入社当初から人気番組『どっちの料理ショー』『あさパラ!』などの情報バラエティー番組を担当し、「シミケン」の愛称で親しまれていました。

また、平成25年5月にスタイリストだった、奈緒さんと結婚、翌年10月には長男が誕生しました。しかし、奥様が妊娠中に乳がんを診断され、長男を出産した3ヶ月後、奈緒さんは29歳で逝去されました。結婚生活

はわずか1年9ヶ月でした。

350名を超える参拝者で立ち見が出る中、清水さんは奈緒さんの死を通して考えさせられた「いのち」に対する想いを熱く語られました。

時折、マイクを使わず大きな声で語られる場面もあり、その熱い想いに、会場全体が涙ぐむ場面も見られました。

法要当日は帰敬式もききようしき

法要当日の午前中には、帰敬式が執り行われました。帰敬式とは、仏・法・僧に帰依し、お念仏をよりどころとし、仏弟子として新たに人生を歩むことを誓う儀式です。仏弟子としてのお名前である「ご法名」が授けられます。この度は、12名の方々が受式されました。



厳粛な雰囲気の様式

報恩講法要修行

〜お供りの3日間〜

11月26日(日)から28日(火)の3日間計7座、本願寺神戸別院の報恩講法要が盛大につとめられ、約550名以上の参拝者が、親鸞聖人のご遺徳を偲びました。ご法話は、3日間を通して、大竹輝道師(三重県桑名市聞光寺)にお取り次ぎいただきました。法要は、親鸞聖人がお書きになった『正信念仏偈』を中心とした作法でつとめられました。

また、夕方からつとめられる「初夜法要」では、親鸞聖人のご生涯を記した『御伝鈔』が26日(上巻)、27日(下巻)の2日間にわたって拝読されました。特に『御伝鈔』は、この報恩講法要の時のみ拝読されるものです。

初日の26日(日)は、特に日曜日ということで参拝者が多く、1階では、同時に花隈モダンタウンフェスティバルも



力強く語られる大竹師



どのお店も軒並み盛況となった

開催されました。

今回で3回目となる花隈モダンタウンフェスティバルでは、地域の名店が腕をふるった屋台が出店されたり、花隈地域の歴史に関わる映像が放映されるなどの催しが行われ、お寺への参拝とともに、地域にもより親しみを持っていただけの行事となりました。

二日目の27日には、神戸別院仏教婦人会によるお斎の接待があり、1階のホールを使用した会場は満杯の人であふれました。このお斎は、報恩講に際して、ご進納いただいた皆さまの仏飯米を使用して、ご接待をさせていただきました。

最終日の28日には、満日中法要(最後の法要)を迎え、蓮華会(兵庫教区参与会)の企業の皆さまからのお供えをお下がりとして、参拝者の皆さまへお配りしました。

報恩講の由来

〜700年以上続く〜
伝統の法要

報恩講法要は、親鸞聖人から数えて、第3代覚如ご門主が、親鸞聖人の33回忌法要にあたる1294年(永仁2年)、法要の次第を定め、そのお徳を偲ばれたことに始まります。

また、第8代蓮如ご門主が1496年(明応5年)の御正忌報恩講から、『御絵伝』(親鸞聖人のご生涯を描いた掛軸)を余間にかけ、『御伝鈔』を拝読して恩徳を報謝するよう取決めを行い、現在にいたります。



四幅の御絵伝(上)と御伝鈔(下) 報恩講法要の間のみ奉献される

CHECK!

自宅でも報恩講法要をおとめしましょう

こうした報恩講法要は、全国のお寺でもつとめますが、更に浄土真宗門徒の一軒一軒が、自宅でも報恩講法要を勤めてきた歴史があります。前年の秋ごろ(9月から12月)から順々に自宅へお参りし、その後、お寺でも法要をつとめます。それを年内に終え、御正忌報恩講(本願寺で1月9日から16日にかけてつとめられます)には、揃って本山へお参りするというのが習慣です。

自宅でも報恩講法要を行う際は、行う前にお仏壇の大掃除をし、新たな気持ちで迎えます。赤色や金色などの華やかな打敷(お仏壇の中央の台にかける三角形の布)をかけ、仏具を五具足(蠟燭立て1対、花瓶1対、香炉)にして、蠟燭は朱色のものを用います。

神戸別院でも、こうしたご自宅での報恩講法要もいたしておられます(別院内の和室でもおとめできます)。親鸞聖人のご命日の法要ですから、ぜひ、私たちが大切におつとめさせていただきます。

ご自宅での報恩講法要のお申込みは、本願寺神戸別院(モダン寺)まで。

TEL 078-341-5949 代

モダン寺行事報告

12月10日(日)

本願寺神戸別院 仏教壮年会報恩講法要

12月の仏教壮年会報恩講法要は、
仏教壮年会の会員の方々が自ら『正
信念仏偈』を参拝者と一緒におつと
めする法要です。当日は、約70名の
方々にご参拝いただきました。

ご講師は望月覚哉師(たつの市善
徳寺)をお迎えしてつとめられました。

ご法話では、節談説教(節をつけ
る説法の形式の一つ、落語などでも
使われる)をされる場面もあり、法
話後には、本堂で先生を囲んで座談
会も行われました。

参拝者の皆さまには蜜柑とお餅の
お供えのお下がりをお持ち帰りい
ただきました。



朗らかにお取り次ぎされる望月師



総会所でも讃仏偈がおつとめされる(元旦会の様子)

12月31日(月)・1月1日(日)

除夜会・元旦会

12月31日16時より除夜会、1月1
日7時より元旦会が、つとめられま
した。

特に元旦会では、普段はなかなか
お参りができない方々にも多くご参
拝いただき、皆で声をそろえて一年
で最初の『正信念仏偈』をおつとめ
しました。

法要後は、総会所に移り輪番より
年頭の挨拶があり、御流杯の儀が行
われました。御流杯に使われた杯は、
それぞれ記念品としてお持ち帰りい
ただきました。

1月20日(土)

本願寺神戸別院 仏教婦人会報恩講法要

神戸別院仏教婦人会では、毎年1
月20日に報恩講法要を行っていま
す。厳しい寒さの中、総会所でも20名
以上の方々にご参拝いただきました。

また、法要当日の朝から、婦人会
の方々にお齋の準備をいただき、法
要後は、参拝者の方々にお持ち帰り
いただきました。

法要は、輪番調声のもと『正信念
仏偈』がつとめられ、法話は、輪番
を含めた神戸別院の職員3名がリ
レー形式で進められました。「今後も
ぜひ職員の話聞ききたい」と話さ
れる参拝者もありました。

2月2日(金)

第16回布教大会

年に一度、兵庫教区の布教団の主
催で、神戸別院で、布教大会が行わ
れています。

今年は2月2日に、朝10時から夕
方15時45分まで、計8名の布教使に
よるご法話があり、約200名の方
が参拝されました。

お昼時には軽食も配られ、一日を通
して聴聞できる尊いご縁となりました。

本願寺神戸別院 仏教婦人会・仏教壮年会

～ 会員募集中!! ～

神戸別院仏教婦人会・仏教壮年会は、「法話会」や「つどい会」、「奉仕作業」等を通して、仏様のみ教えに触れ、心のお育てをいただく仏教徒のつどいです。年齢など問わずどなたでもご入会できます。一緒に仏様のみ教えを聞いてみませんか？

主な活動

- 婦人会定例法座(法話会・毎月7日)
- 別院法要への奉仕活動(お齋づくりや別院の清掃など)
- 日帰り旅行、懇親会
- 仏仕のつどい(輪読学習会・毎月16日)
- 別院法要・法座・仏教講座への参加

お問い合わせ・お申込みは **本願寺神戸別院** TEL:078-341-5949 まで

行事予定

法要・法座はどなたでもご参拝いただけます

3月

3日

昼13時30分から
第一土曜仏教講座
講師：秋山 和信師
(真宗興正派、香川県高松市慈照寺)

7日

昼13時30分から
仏教婦人会定例法座
(布教使実演研修会と併修)
講師：①池本 史雅師
(姫路市法性寺)
②杉本 光仁師
(芦屋市照善寺)
③福岡 智哉師
(姫路市圓福寺)

15日・16日

昼13時30分から
常例法座
講師：黒田 真隆師
(兵庫県宍粟市安楽寺)

20日・21日・22日

昼13時30分から
春季彼岸会
講師：西郷 教信師
(滋賀県彦根市龍泉寺)
※21日は、おはぎのご接待があります。

4月

7日

昼13時30分から
第一土曜仏教講座
講師：安藤 聖一師
(人形説き・人形説法)
演目：①琵琶語り祖師聖人御一代記
②人形説き 飴買ひ幽霊



NHK「おかあさんといっしょ」等にも出演されていた安藤聖一師 (4月第一土曜仏教講座)

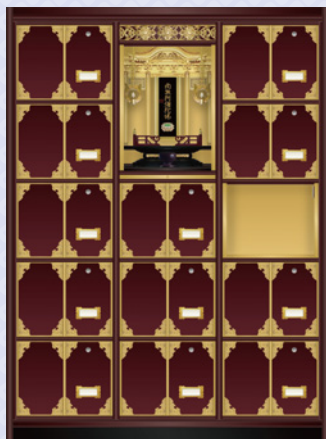
15日・16日

昼13時30分から
常例法座
講師：別所 法宣師
(兵庫県神戸市教覚寺)
※4月の仏教婦人会定例法座は、第一土曜仏教講座と重なるため休座となります。

本願寺神戸別院 納骨所を増設へ

2月15日(木)より新規申込受付開始

寒さ、暑さに関わらず、一年中快適にお参り頂ける納骨所。ご好評をいただき、新たに増設となりました。

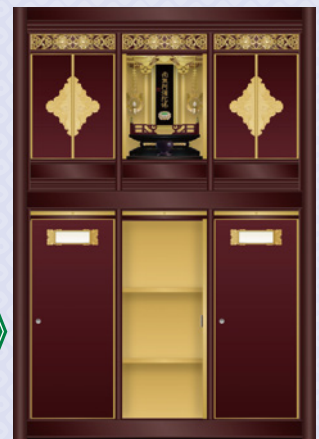


五段型納骨壇
写真は13家分です

納骨所使用懇志 **80**万円以上
年次維持冥加金 5千円
ご納骨スペース：幅43.5・高30.7・奥行39.5cm

納骨所使用懇志 **250**万円以上
年次維持冥加金 1万円
ご納骨スペース：幅40・高190・奥行40cm

普通区画納骨壇
写真は3家分です



本願寺神戸別院
兵庫教区教化センター

お問い合わせ・資料のご請求は **TEL.078-341-5949** 代
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号

●お申込みは、浄土真宗本願寺派の寺院に所属する団体・門徒に限ります。